

何という大きな愛だろう神の愛は!

イエス・キリスト 飯塚 優 伝道人

救い、献身者への道 そしてAVビデオ店よりキリスト教会へ

私は16才で対人恐怖症にかかり、19才の時、2度の自殺未遂、生きる目的もなく約10か月間錯乱状態でした。キリスト教会に行き、半年くらい夢中になって通い、少しばかりの荷物を持って教会にこころがり込んで、献身者への道を歩み始めました。

しかしながら、献身者は人前で話をするのが仕事です。対人恐怖症の自分にとっては死ぬ思いです。初めの頃は信仰で乗り切ったとゆくと元気いっぱいでしたが、結局挫折し、信仰的にもつまずいて、ボロボロになって教会を飛び出しました。

その時、現在の妻と出会って結婚しました。10か月後には長男が生まれ、それからは生活のため、電気工事屋、クレーンの運転士をしたり、古美術商、海の家、弁当店、ラーメン店、ビデオ店を営んだりしました。最初は一般テープを売ってつもりでしたが、商売にならなくて、結果的にAVビデオ店になってしまいました。

教会に通いながらAVビデオを売るクリスチャン、聞いたことがありません。思えば教会を飛び出して40年、絶えず心の中には「お前はいったい何をしているんだ、わが道に戻りなさい、戻りなさい」との神の音が響いていました。苦しかった、苦しかった!! 苦しかったです。

1本1本ビデオテープをダンボール箱に詰め、約3000本を3か月かけて処分しました。空になった部屋を何に使おうか考えているうちに、教会の伝道所にするかなと、次の日、講壇を注文して来ました。2007 (H19) 年6月には最初の集会をしました。

柳承吉先生に出会ったのはその年の9月です。10年くらい前にリバイバル新聞の広告欄で飯田万民教会を知ったと思います。その頃、自分の教会の発展のな



に疑問を感じ、このままではダラダラと残りの人生が終わってしまうと、生きた教会を探していました。そのうち万民中央ニュースやイ・ジェロク先生の本が送られて来るようになりました。

電話で柳先生に思いを熱く語ったら、一週間後にこちらに来るとのことです。茨城の田舎に6時間以上かけて会いに来てくれることにまずびっくりし、この教会には何かあるかと、とても感動しました。初心の頃より自分を導いてくれる前田実隆先生(アッセンブリーズ・オブ・ゴッド)・横濱鶴見福音キリスト教会牧師に電話したところ、ぜひ自分も会ってみたいと鉢田に連れて来ました。

話の後に「祈りましょう」ということになって、祈り始めました。祈りには自信はありましたが、はるかに力強い祈りに圧倒されました。そして、10月19日、万民教会としての1回目の集会をしました。

次の日、壁と講壇の工事を頼みました。十字架、献金箱、献金袋を購入し、真っ赤なジュエタンをしき、講壇、召した信仰の友のオルガン、47インチのテレビを設置し、イス、テーブルも並べてみました。前後に取り付けた十字架が輝きます。イエス・キリスト飯田万民教会が産声をあげたのです。聖日はGCNテレビの前で2~3人で礼拝を守っています。柳先生の集会7回、前田先生他の集会10回してきました。出席人数は12~13人です。

対人恐怖症のいやし

対人恐怖症のためにこれまで何人かの先生方に祈ってもらいましたが、全き開放は得られませんでした。これが最後だとイ・ジェロク先生の祈りを受けるために、今年3月に万民中央教会を訪問しました。先生が「じゃー祈りましょう」と言った時に、目に見えない強い力がスッと自分の中に入って来るのを感じました。神の力、自分はいやされたんですね!! その証拠に、皆との食事の時間が何の不安もなく、くつろいだ気持ちで実に楽しかったですよね!! 食事も美味しくかったです。

本教会の訪問は、ただ喜びと感動、涙ででした。見るもの聞くもの、すべてが新しく驚きでした。このように生きた教会があったんだと!! 救いの喜びを全身で表現する賛美、30分、40分、1時間と熱心に祈る祈り、これが本当の祈りです。素晴らしい万民教会に出会ってよかったです。イ・ジェロク先生に出会ってよかったです。ハレルヤ~

今後、この鉢田を中心として、実践的な神の力の伴う教会を実現し、無限の可能性の中に救いの業に励みたいと考えております。栄光、主にあれ!



• 編集発行: 万民中央教会 • 発行人: イ・ジェロク • 編集者: ビン・ガンソク
 • 〒152-879 韓国ソウル市九老区九老洞851番地 • 電話: 82-2-818-7042 • Fax: 82-2-818-7048 • www.manmin.or.kr

「起きよ、光を放て。」
(イザヤ 60:1)

万民中央ニュース

民族福音化と世界宣教の使命を持つ万民中央教会
わたしたちは、聖書の教えと正統的キリスト教の信仰に立ち、新興宗教団体であるエホバの証人・モルモン教・統一教会とはいっさい関係ありません。

第61号 2008. 4. 20.



イースター感謝礼拝および聖餐式 カンタータ公演と卵配り

人類の罪を贖い、死の力を打ち破ってよみがえられた主を記念するイースターを迎えて、万民中央教会では「イースター感謝礼拝および聖餐式」をささげた。

堂会長イ・ジェロク牧師は3月23日の大礼拝では「復活の望み」(使徒の働き1:10-11)、夕方礼拝では「愛」(ヨハネ19:1, 17-18, 32-34)というメッセージを伝え、続いてパンとぶどう酒を分ける聖餐式を導いた。

3月21日の金曜徹夜礼拝2部ではイースター記念カンタータ「ゲッセマネの祈り」の公演があった。芸能委員会の主催で俳優、スタッフ、聖歌隊

など約600人が動員された大作であり、計7幕(ゲッセマネの園での祈り、逮捕、苦しみ、十字架の道、亡くなられたこと、復活、昇天)で構成され、イエス様の崇高な愛を実感させた。

この公演はGCN(世界キリスト教放送ネットワーク)放送などで全世界に放映された。

一方、女性宣教会では聖徒と隣人にイースターを記念して卵を配った。ニシ・オーケストラの演奏とともに教会周辺のベンチャータウン、官公庁、商店街、市民などを対象に卵を配り、復活の主を伝えた。

前田実隆牧師、飯塚優伝道人夫妻、ソウルの本教会訪問

3月12日から15日まで、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の横濱鶴見福音教会の前田実隆牧師と、鉢田万民教会の飯塚優伝道人夫妻が、ソウルの本教会を訪問した。

前田牧師は、飯塚伝道人を通して聖潔の福音と神様の力による働きに接して恵みを受け、今回本教会を訪問して堂会長イ・ジェロク牧師に会い、祝福の祈りを受けて、今後万民教会の働きに積極的に協力することになった。

また、ムアンの甘い水の泉訪問、教会の部署ツアー、日本関係者と牧会者との交わり、国立中央博物館訪問など、短い期間でも有意義な日程を過ごして帰国した。今後このように地元の牧会者たちと協力を続けて、

日本に大きなリバイバルが起こることを期待する。



Manmin Central Church
 website: www.manmin.or.kr
 Tel: 82-2-818-7042, 7063
 Fax: 82-2-818-7048
 e-mail: ksy8187042@yahoo.co.jp

MANMIN TV
 website: www.manmintv.org
 Tel: 82-2-824-7107
 Fax: 82-2-813-7107
 e-mail: info@manmintv.org

WCDN World Christian Doctors Network
 Website: www.wcdn.org
 Tel: 82-2-818-7010
 Fax: 82-2-851-3846
 e-mail: hwang 1923 @empal.com

日本各支教会(4連絡先参照)

日本支教会の連絡先

イエス・キリスト飯田万民教会
 担任: 柳承吉(ユ・スングル)牧師
 崔乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師
 山下好美 牧師
 安達真理子伝道師
 リュ・ワンギョン伝道師
 住所: 〒395-0807
 長野県飯田市鼎切石 3883-4
 連絡先: T) 0265-56-8286
 F) 0265-56-8287
 e-mail: imc@s9.dion.ne.jp
 ホームページ: http://iidamanmin.to.cx/

名古屋万民教会
 担任: 時國みや子 伝道師
 住所: 〒465-0014
 名古屋市名東区上菅 1-916
 連絡先: T/F) 0237-43-0771
 F) 052-774-8883
 e-mail: nago_mhc@maroon.plala.or.jp

イエス・キリスト山形万民教会
 担任: チャン・カンソプ牧師
 住所: 〒999-3716
 山形県東根市蟹沢 1486-4
 連絡先: T/F) 0237-43-0771
 e-mail: ymgtjks@gmail.com

イエス・キリスト別府万民教会
 担任: 加藤勲 牧師
 住所: 〒874-0924
 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
 連絡先: T/F) 0977-23-8980
 e-mail: b.manmin@galaxy.ocn.ne.jp

イエス・キリスト大阪万民教会
 担任: キム・マルコ牧師
 キム・モニカ宣教師
 住所: 〒591-8023
 大阪府堺市中区百舌鳥町 5-775-15
 連絡先: T/F) 072-220-5289
 e-mail: osmanmin@hotmail.com

イエス・キリスト旭川万民教会
 担任: 小松幹 伝道師
 住所: 〒071-8144
 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
 連絡先: T/F) 0166-53-0652
 e-mail: asa-mhc@hokkaido.email.ne.jp

イエス・キリスト東京田端万民教会
 担任: チョン・ギョング牧師
 ソン・アミ宣教師
 住所: 〒114-1102
 東京都北区田端新町 2-25-3
 連絡先: T) 03-3809-3326
 e-mail: manjeong7@yahoo.co.jp
 ホームページ: http://tabata.manmin.or.kr/

イエス・キリスト川崎万民教会
 担任: 平良エリカ 伝道師
 住所: 〒210-0818
 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目
 12-8 グリーンヴァレ301号室
 連絡先: T) 044-277-0178

イエス・キリスト松本万民教会
 担任: 伊藤 正明 牧師
 伊藤 時子 伝道師
 住所: 〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
 連絡先: T) 0263-57-0003
 F) 0263-57-0015
 e-mail: mmcito4343@nifty.com

イエス・キリスト舞鶴万民教会
 担任: キム・マルコ牧師
 キム・モニカ宣教師
 住所: 〒624-0913
 京都府舞鶴市宇上安久 138
 連絡先: T) 0773-75-5656
 e-mail: osmanmin@hotmail.com

岡山万民教会
 担任: 時國 裕博 牧師
 住所: 〒701-2155 岡山市中原460
 連絡先: T) 086-275-7276
 C) 090-5031-7107
 e-mail: oky_777@blue.plala.or.jp

イエス・キリスト八千代万民教会
 担任: 青木久尚 牧師
 住所: 〒276-0045
 千葉県八千代市大和田 670
 連絡先: T/F) 047-483-3587
 e-mail: hisanao@kyji.biglobe.ne.jp

イエス・キリスト鉢田万民教会
 担任: 飯塚 優 伝道人
 住所: 〒311-2102
 茨城県鉢田市台濁沢1080-6
 連絡先: O) 0291-39-9177
 C) 090-2524-7337
 e-mail: surf9snow9@yahoo.co.jp

**イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)**
 担任: 柳承吉(ユ・スングル)牧師
 崔乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師
 住所: 〒160-0004
 東京都新宿区四谷一丁目8-8
 佐伯千成ビル5-B
 連絡先: T/F) 03-3356-9830
 E-mail: imc@s9.dion.ne.jp

「十字架の道」シリーズ(24)

永遠のいのち(2)

人の子の肉を食べて血を飲んでこそ永遠のいのちを持つ①

「イエスは彼らに言われた。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。人の子の肉を食べ、またその血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物だからです。』」(ヨハネ6:53-55)

きょうはまず、人の子の肉を食べる方法について語ります。

1.「人の子の肉を食べる」というみことばの意味

「人の子の肉」とは、イエス様の肉、すなわち、靈的には聖書に記された「神のことば」を意味します。<ヨハネの福音書1:14>に「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちがこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」とあるように、神のことばが人となってこの地上に来られた方がイエス様なのです。

<ヨハネの福音書6:51>には「わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きています。またわたしが与えようとするパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」とあるので、イエス様は「天から下って来た生けるパン」と言っています。

神のことば、すなわち、いのちのパンである人の子の肉をどのように食べるかは、子羊のたとえとも関連があります。<ヨハネの福音書1章>を見れば、バプテスマのヨハネがイエス様を「世の罪を取り除く神の小羊」と表現しています。

一般に羊は、羊飼いの声にだけ聞いてついて行き、性分がおとなしくて、人に益だけ与えます。イエス様も、ただ父のみことばに従って、おとなしい羊のようになだめの供え物になってくださり、人に良いものだけを与えてくださいました。羊の中でも、特に一歳の傷のない小羊は、さかりのつく前の純潔な状態であり、靈的には、傷もなく汚れもない私たちのイエス様をたとえています。

<出エジプト記12章>には、エジプト全域に初子の災いが臨むとき、神様がイスラエルの民に災いが来ないように、傷のない一歳の子羊の雄をほふり、その血を門柱とかもいにつけて、家の中でその肉を食べるようになさいました。神様は子羊を食べる方法まで詳しく教えてくださいました(出エジプト記12:8-10)。これは、その中に私たちのいのちと直接関わる、靈的な教訓が含まれているからです。

「その夜、その肉を食べる。すなわち、それを火に焼いて、種を入れないパンと苦菜を添えて食べなければならない。それを、生のままで、または、水で煮て食べてはならない。その頭も足も内臓も火で焼かなければならない。それを朝まで残してはならない。朝まで残ったものは、火で焼かなければならない。」(出エジプト記12:8-10)

2.子羊を食べる方法

- 1) 生のままで、または、水で煮て食べてはならず、火で焼かなければなりません。ここで「火」とは、聖霊の火を意味していて、聖霊に感じて神のことばを悟り、糧としなければならないということです。また、聖霊の火をつけるためには、火のように祈らなければなりません。
<第二ペテロ1:20-21>に「それには何よりも次のことを知っていなければいけません。すなわち、聖書の預言はみな、人の私的解釈を施してはならない、ということです。なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人た



堂会長イ・ジェロク牧師

ちが、神からのことばを語ったのだからです。」とあります。

また、<第二ペテロ3:16>には、神のことばを聖霊に感じて解釈しないで、無理に解釈すれば、むしろ真理からはずれて滅びに至ると警告しています。聖霊に感じないで無理に解釈すること、即ち、「生のままで食べること」や「水で煮て食べる」と言います。

それでは、「神のことばを生のまま食べて」とはどんなことでしょうか？ 神のことばの中に記された靈的な意味が惜れなくて、書いてある文字そのままに解釈することを意味します。肉を生のまま食べれば、消化もよくできなくて、胃がもたれやすいように、神のことばも生のまま食べれば、とんでもない解釈が出て来ます。

<マタイの福音書6:6>に「あなたは、祈るときには自分の奥まった部屋にはいりなさい。そして、戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見られるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。」とあります。もし文字そのままに解釈すれば、私たちが祈るためには、奥まった部屋を作って、そこに入って祈らなければなりません。しかし、聖書のどこを見ても、昔の信仰の人々が奥まった部屋で祈ったという箇所は探せないし、イエス様も、奥まった部屋でなく、園や荒野で祈られました。

ここで「部屋」とは、靈的に人の心を意味します。ですから、「奥まった部屋に入って祈りなさい」とは、奥まった部屋に入って戸を開ければ、外部と完全に遮断されるように、私たちが祈る時は、人に見せるために偽善をすることもやめて、世の愛い悩みや雑念で同じことばをただ繰り返すこともやめて、心から神様と交わらなければならないことを悟らせてくれるみことばです。

次に、「水で煮てはならない」というみことばは、何を意味するのでしょうか？ 神のことばに向かうとき、ほかのどんな世のことばも加えてはいけないという意味です。神のことばを伝えながら、政治や社会などあらゆる肉的話をしたり、「ある哲学者はこのように言った」と世の知識を引用して、まるでその言葉が真理であるかのように説教する人がいます。しかし、人の考えと知識はごく制約されたものであり、いくら立派な思想も完全ではありません。<コリント人への手紙第一1:25>に「なぜなら、神の愚かさ人は人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。」とあります。

神のことばは世のどんな知識よりも飛び抜けて優れていて、神のことばだけが唯一の真理であり、永遠に変わることがないのです。このようなことを心に刻んで、何かの知識や理論を伝えるのではなく、ただ聖霊に感じて解釈された聖書のみことばそのものを伝えなければなりません。神様が生きておられること、どうすれば神様に会えるのか、聖徒たちに向けられた神様のみことばは何か、どのように信仰生活をしてこそ救われるかを教えてあげなければなりません。まさにこういう意味で、子羊を水で煮てはならないと言われるのです。

2) その頭も足も内臓も、すべてまるごと食べなければなりません。

これは、創世記の最初からヨハネの黙示録の最後まで、すなわち、66巻の聖書に記されたすべてのみことばを糧としなければならない、という意味です。聖書を読むとき、レズ記のように理解しにくいみことばは飛ばして読む人や、聖書に明らかに記されているのに、不思議とするしは信じない人もいます。

このように人間の思いに合わないことを抜けば、結局残るものは真理でもなく、信仰でもないし、倫理と道徳に当たることだけです。それさえも、その中で守りにくく行ないにくいことは心に留めもしないので、いくら神のことばを読むといっても、永遠のいのちを得ることができないのです。

神のことばは、自分の思いに合う特定の部分だけを取るのではなく、すべてのみことばを完全に信じて、糧としなければならないのです。それで、子羊を食べる時も、まるごと食べなさいと命じられたのです。

3) 朝まで残ったものは、火で焼かなければなりません。

朝までにすべて食べられなければならない、残ったものは火で焼かなければなりません。靈的に「夜」とは、敵である悪魔・サタンが世の権威を持って支配している期間です。終わりの時になれば、世の罪と悪がますます満ちて、暗やみが深まります。そうするうちに、時至って主が再臨なされば、闇が退いて光が臨み、朝が来るのです。

この時は、主の空中再臨と携挙など、聖書に記されたすべてのみことばがまことだったことを悟るようになり、また、聖徒ひとりひとりがどれほど聖められて報いを積んだのかも、明らかにされます。自分の義と欲、自尊心などがどれほど愚かなものであったか、世を愛する心がどれほどむなしいものだったか、あまりにもはつきりと悟るようになります。

しかし、すでに現れた結果について、変えられる機会がありません。残念だと後悔しても、すでに手遅れなのです。

したがって、朝になる前、すなわち、主の再臨以前に、すべてのみことばをこまめに糧として、花嫁の備えを終えて再臨の主を待たなければならないのです。

愛する聖徒の皆さん、私たちが神のことばをどれほどよく糧としたのかにより、この地上の人生だけでなく、天国でも場所と報いが違って、生活の質が違ってきます。したがって、神様が命じられたみことばをそのまま糧とし、将来天国でも最も栄華を極める座に至られませう、主の御名で祈ります。✚



私の人生のすべてが変わったよ～



「教会に行くのか、行かないのか？」

突然、力があってとどろくような声が聞こえて、寝ている私に向かって左右の壁がものすごい速さで迫って来た。壁に挟まれる一歩手前で、私は大声を上げた。「いい、行きます。教会に行きます！」あっという間に壁が退いて、壁紙まで剥けて飛んで行った。

榎本スンジヤ執事 (東京田端万民教会)

「ふう～、何と不思議な夢もあるもんだわ。」幸いにも夢だったが、耳元には相変わらずさっきのその声がぐるぐる回っていた。

一時教会に通いながら、恵みを受けたこともあるが、生きていくのに忙しいという言い訳で足を運ばなくなって、長い歳月が流れた。

「どうしても私、また教会に行かなければならないのかしら…」恐ろしさ半分、期待半分で、2005年9月、知り合いについて行って、東京田端万民教会の羊の群れになった。

十分の一献金をささげた後、礼拝時間に眠気が消えて居酒屋を営んでいる私は、1ヶ月に二回くらいしか主日礼拝に参加できなかった。しかも明け方まで働いて礼拝に行くので、礼拝中にいつも居眠りしてしまうのだった。

担任牧師先生は、最善を尽くして礼拝に参加してメッセージを聞いていると、いつも霊的な耳が開かれる、と言われたが、はたして私にもそのような日が来るのか、見通しもきかなかった。

1年くらいが流れただろうか、ある日、礼拝に参加した私は、どうしたことなのか眠くならなくて、メッセージをきちんと聞くことができた。映像でささげる礼拝で、堂会長イ・ジェロク牧師先生は、十分一献金をしないことは、神様のものを盗むことです、と言われた。その時まで私は一度も十分の一献金をしたことがない。私は財布から2万円を取り出して、十分の一献金をささげた。不思議にもその後からは、礼拝時間に眠くならず説教に集中できて、メッセージに引き込まれるように感動を受けることもあった。

子宮頸部がんだと？

2006年10月、からだがすぐ疲れて、お小水に血が混ざって出るのが普通ではなく、病院に行ったら、子宮頸部がんのようだとされた。詳しいことは組織検査をしてみないと、と付け加えた。「どうしてこんなことが？」本当に目の前が真っ暗だった。堂会長先生に私の写真を送って祈りを受けたが、心配する家族を安心させるために、病院治療をして11月30日、まずレーザー手術を受けた。

ところが、しばらくして再検査をした結果、がん細胞が周辺まで転移して、子宮全部を取り出さなければならぬと言われていた。心配していた事が起ったのだ。「どうしよう？」私は信仰で祈りを受けなかったことを悔い改めて、神様の前にいやされたかった。担任牧師先生は、神様は心をご覧になるので、みことばのとおり生きようとする信仰の行ないを見ることが大事だと言われた。

人生の一部だった酒とタバコをやめて

何週間かしたら、不思議な事が起きた。習慣のようにタバコを口にはさまうとしたが、下におろして、自分も知らないうちに祈っていた。「神様、私は教会に通っていやされるために、神様に祈りながらもこのようにタバコを吸っています。私がタバコをやめて、神様のみことばとおり生きられるように力を与えてください。」あまりにも切実だったので涙まで出た。一食の断食もしたことのない私が、タバコをやめるために、三日断食をすると、20年間やめられなかったタバコが煙さえ嫌になった。これだけでなく、お酒もほしくなくなった。おいしいおつまみを見たら我慢できなかった私だったので、おそらく、タバコをやめるために断食した私に、神様はお酒までやめるようにしてくださいました。

私は5年前からパチンコをしていた。暇つぶしに始めたのが習慣になって、生活の一部になっていた。その日もパチンコをして、店から出て来ると、フッと「これもやめるようにしてください」という祈りが出た。数日後、偶然にその店の前を通ったとき、中から聞こえてくるパチンコの機械の音があまりにもうるさかった。私はどうしてこれまであんなにうるさい所でパチンコをしていたのだろうか悔いて、すぐやめることができた。私の人生に信じられない変化が起きていることが確かだった。

夢の中でがんがいやされた

2007年2月のある日、夢を見た。お医者さんの白衣を着た男の人が「あなたの霊を取り出してあげるから、自分を見なさい」と言うのだった。私は立っているのに、もうひとりの私が横になっていて、白衣を着た男の人は立っている私に、私のおなかを指さして言った。

「あのおなかの中にある青いものが全部がんだ。これからそれを治してあげる！」

夢から覚めるやいなや、いやされたという確信をもって神様に感謝の祈りをささげた。いやされたことを信仰で受けるけれど、これからが大事です、という担任牧師先生の言葉を心に刻んで、いつも恵みに感謝して聖められようと努力した。堂会長先生の「いやしの祈り」と「一日を始める祈り」を受けながら、祈って断食した。すぐ疲れて、いつも重くてすっきりしなかったからだが軽くなって、心は平安だった。しょっちゅうひいていた風邪もひかなくなり、遅くまで働いても疲れを知らず、時々教会の新聞も配った。

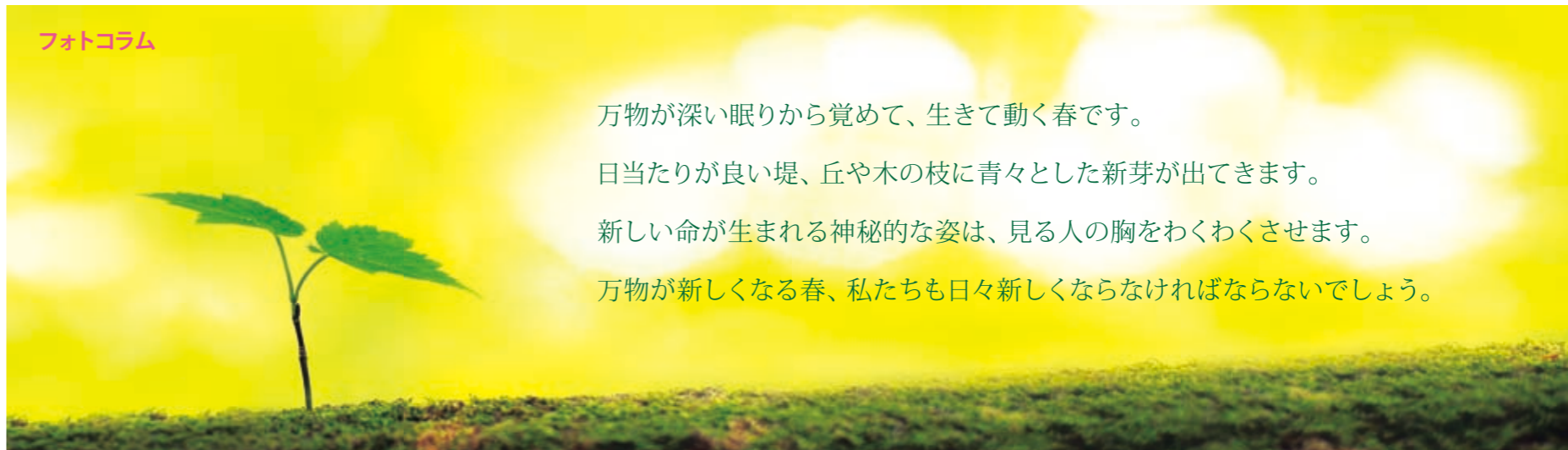
みことばに従って生きることは本当に幸せ

健康を取り戻したほかに、私の心にはみことばが芽生えていた。

前は主人と口げんかすることが多かった。神様に申し訳なくて、主人に対する私の態度が変わるように祈って、仕えようと努力した。今は主人がどんなことを言っても、理解できていて嬉しい。子どもに対しても職場でも、はばかりことなく飛び出していた悪口も、捨てるためにひと言さえも注意深く言うようにして、何の理由もなく憤る相手も、以前の自分を思い出して理解するようになった。一つ一つ真理に変えられる姿に、この頃ずいぶん変わったと、家族の皆が喜ぶ。

私はこの頃、みことばの味が蜜のように甘いという意味を実感している。これまで聞けなかった水曜礼拝、金曜徹夜、主日礼拝の説教テープを聞きながら、みことばにどっぷり浸かっている。主日にダニエル徹夜祈祷会に来るならバイクが必要だったが、神様が有る方に働きかけて与えてくださって、願いどおりに祈祷会に来て祈り、物質の祝福も受けている。神様の恵みで人生の隅々まで感謝で満たされている。

もし主を受け入れなかったら、こういう喜びと感謝がわかったでしょうか？ 私に新しい人生を始めるよう許してくださった神様に感謝申し上げ、愛で祈ってくださった堂会長先生と担任牧師先生、そして牧師夫人と区域長にも感謝いたします。ハレレヤ!



フォトコラム

万物が深い眠りから覚めて、生きて動く春です。

日当たりが良い堤、丘や木の枝に青々とした新芽が出てきます。

新しい命が生まれる神秘的な姿は、見る人の胸をわくわくさせます。

万物が新しくなる春、私たちが日々新しくならなければならないでしょう。